

関連イベント

※詳しくは本展公式ホームページをご覧ください。

◎講演会

●4月9日(土)

「モディリアーニ 伝統と前衛のはざまで」

講師: 深谷克典氏(名古屋市美術館参与)

●6月25日(土)「モディリアーニの『目』と『眼差し』」

講師: 岡田温司氏(京都大学名誉教授)

●7月9日(土)「日本とモディリアーニ」

講師: 小川知子(大阪中之島美術館研究副主幹)

※いずれも14:00-15:30(開場13:30)

※会場: 大阪中之島美術館1階ホール

※定員: 150名(先着順、申込不要)

※講師無料。ただし本展の観覧券(半券可)が必要。

◎ワークショップ

「色で楽しむエコール・ド・パリ」

講師: 琴見ゆり氏(色彩コーディネーター)

①5月14日(土) ②5月28日(土)

※いずれも14:00-15:00(開場13:30)

※会場: 大阪中之島美術館1階ワークショップルーム

※定員: ベア15組計30名(原則、小学3~6年生のお子

様と保護者のペア。複数のお子様も可)。要事前申込。

定員を超えるご応募をいただいた場合は抽選を行い、当

選者には参加証をお送りいたします。参加証の発送を
持って当選連絡とさせていただきます。

※ご応募はハガキに代表者の郵便番号、住所、氏名、年
齢、電話番号とお子様の氏名、年齢と、参加ご希望の日
を明記して、下記へ郵送ください。

〒539-0041(住所不要)読売新聞大阪本社 文化事業部

「モディリアーニ展ワークショップ」事務局

※参加無料。ただし本展の観覧券(半券可)が必要。

※参加証は当日必ずご持参ください。

※本ワークショップに関するお問い合わせは、上記事務局

(06-6366-1848、平日午前10時~午後5時)までご連
絡ください。

◎演奏会

「ヴァイオリンで聴くモディリアーニとエコール・ド・パリ」

6月11日(土) 15:00-16:00

奏者: フェデリコ・アグスティーニ氏(ヴァイオリニスト、
愛知県立芸術大客員教授)ほか

会場: 大阪中之島美術館1階ホール

定員: 150名(先着順、申込不要)

※鑑賞無料。ただし本展の観覧券(半券可)が必要。

 大阪中之島
美術館

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1

tel.06-6479-0550(代表) <https://nakka-art.jp>



描いたのは愛

AMÉDÉO MODIGLIANI

開館記念特別展

モディリアーニ

—愛と創作に捧げた35年—

2022年4月9日(土) — 7月18日(月・祝)

開館時間=10時-17時(入場は16時30分まで) 休館日=月曜日(5/2, 7/18を除く) ※災害などにより臨時休館となる場合があります。

主催=大阪中之島美術館、読売新聞社 協賛=大阪芸術大学グループ、NISSHA、非破壊検査 協力=イタリア文化会館-大阪、国立民族学博物館

大阪中之島美術館 5階展示室

大阪発刊
70年

ISTITUTO
italiano
di CULTURA
COM.

アメド・モディリアーニ 《座る裸婦》(部分) 1917年 アントワープ王立美術館
photo: Rik Klein Gotink, Collection KMSKA - Flemish Community (CC0)

モディリアーニ

—愛と創作に捧げた35年—

モデルの内面的な本質を捉えた肖像画で知られるアメデオ・モディリアーニ(1884-1920)。祖国イタリアで美術を学び、21歳でパリに出て、独自の表現様式を築きました。本展は、2008年の回顧展以来、日本でモディリアーニの作品をまとめてご紹介する初めての機会となります。短い活動期の中から優れた作品を選び、モディリアーニ芸術の本質を探るとともに、各国で進められているモディリアーニ研究の現在をひもときます。さらに、同時代に活躍したピカソや藤田嗣治ら「エコール・ド・パリ」の作品も展示するとともに、モディリアーニとの交流、さらに日本でのモディリアーニ受容の軌跡などもご紹介します。

20世紀前期のパリで開花した芸術は、新時代の幕開けを迎える躍動感に満ちています。その豊かな醍醐味を、新たな船出を迎えた大阪中之島美術館で心ゆくまでご堪能ください。

●プロローグ—20世紀初頭のパリ

モディリアーニが生きた当時のフランス社会とは。ポスター作品の展示やパネルでわかりやすく解説します。

●第1章—芸術家への道

到着したパリでモディリアーニが出会った芸術とは。セザンヌやフォーヴィズム、アフリカ美術などに触発された1913年頃までの初期作品を取り上げます。

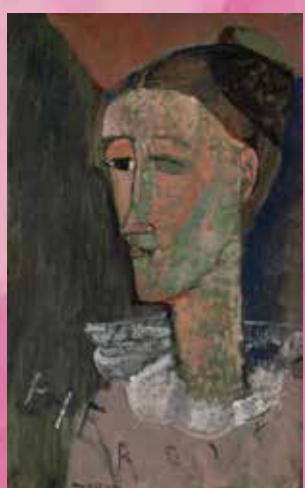


コンスタンティン・ブランクーシ 『接吻』
1907-10年 アーティゾン美術館

アメデオ・モディリアーニ 『カリアティード』
1911-13年 愛知県美術館

●第2章—1910年代パリの美術

モディリアーニの仲間とは。「エコール・ド・パリ」のピカソ、シャガールら芸術家25名の作品とともに、その交流も紹介します。



アメデオ・モディリアーニ 『ピエロに扮した自画像』
1915年 デンマーク国立美術館

マリー・ローランサン 『サーカスにて』
1913年頃 名古屋市美術館

●特集—モディリアーニと日本

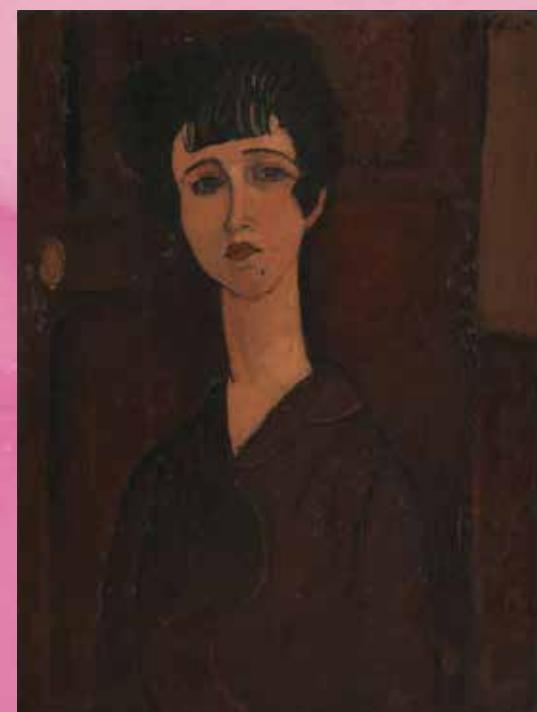
モディリアーニ芸術が日本にもたらされた軌跡とは。藤田嗣治との友情を軸に解説します。

●第3章— モディリアーニ 芸術の真骨頂 肖像画とヌード

モディリアーニ芸術の真価とは。裸婦の連作に取り組んだ1917年前後、そしてパリと南仏で制作した作品には、モディリアーニの全身全霊が注ぎ込まれています。世界初公開、日本初公開のものを含め、珠玉の作品群を堪能していただきます。



アメデオ・モディリアーニ
『大きな帽子をかぶったジャンヌ・エビュテルス』
1918年 個人蔵



アメデオ・モディリアーニ 『若い女性の肖像』
1917年頃 テート Photo © Tate

描いたのは愛

見どころ1

世界初公開の肖像画を含め、 国内外のモディリアーニ作品約40点が集結

フランス、イギリス、ベルギー、デンマーク、スイス、アメリカなどから選りすぐりを集め、さらに国内美術館等が所蔵する油彩画や素描などが一堂に会します。なかでも、スウェーデン生まれのハリウッド女優、グレタ・ガルボが生涯大切にした《少女の肖像》は世界初公開となります。



アメデオ・モディリアーニ 『少女の肖像』 1915年頃 個人蔵



キスリング 『ルネ・キスリング夫人の肖像』
1920年 名古屋市美術館

観覧料(税込)=一般1,800円(1,600円) 高大生1,500円(1,300円) 小中生500円(300円)

※カコ内は前売り[販売期間:2022年2月2日(水)~4月8日(金)]及び20名以上の団体料金。20名以上の団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。※未就学児は無料。※障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は当日料金の半額(要証明)。※一般以外の料金で観覧される方は証明できるものを当日ご提示ください。※本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。※展示室内が混雑した場合は、入場を制限する場合があります。※新型コロナウイルス感染状況などを踏まえ、開館時間等が変更になる場合があります。最新情報は本展公式ホームページ等をご確認ください。※ご来館時は、マスクの着用等の感染防止対策にご協力ください。※企画チケットなど詳細は本展公式ホームページで順次お知らせします。[相互割引]……本展観覧券(半券)の提示で、4階で開催される開館記念展「みんなのまち 大阪の肖像」[第1期]2022年4月9日(土)~7月3日(日)の当日券を300円引きでご購入いただけます。(1枚につき1名様有効。チケット購入後の割引および他の割引きとの併用は不可)

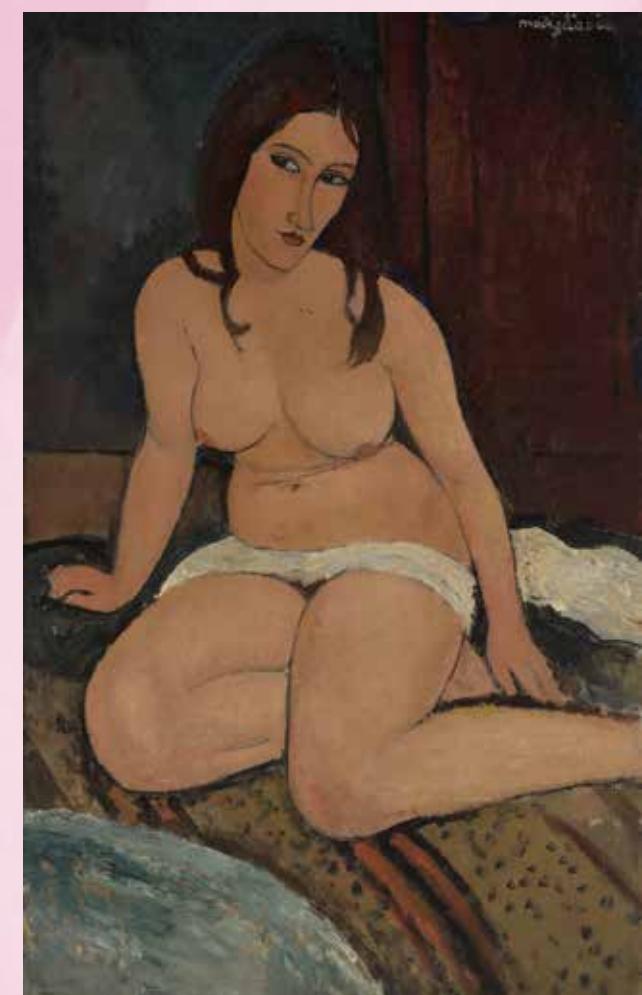


アメデオ・モディリアーニ 『髪をほいた横たわる裸婦』 1917年 大阪中之島美術館

見どころ2

大阪中之島美術館所蔵の裸婦像と同じモデルを描いた作品が来日、大阪で初めての再会

大阪中之島美術館のコレクションを代表する《髪をほいた横たわる裸婦》。同一のモデルを描いたアントワープ王立美術館(ベルギー)所蔵の《座る裸婦》が来日、大阪での初競演が叶います。



アメデオ・モディリアーニ 『座る裸婦』 1917年 アントワープ王立美術館
photo: Rik Klein Gotink, Collection KMSKA - Flemish Community (CCO)



◎音声ガイド
ナビゲーターは、
真矢ミキさんに決定!
モディリアーニの生きていた
時代や空気、香り、感触を
感じられるようナビゲートします。
貸出料金: 1台600円(税込)
約30分